

● 隠岐たより

隠岐の島町西郷港から徒歩で約5分の場所に、八尾川にかかる橋があります。その名は“愛の橋”。

明治時代、ここに橋が無かったころ、対岸の地域の子供たちは荒天時も遠廻りをして通学していました。その不便さを見かねた金物店の藤原金市氏が、昭和4年(1929年)、私財を投じて作られた橋です。

藤原氏はクリスチャンでもあったことから、聖書の一節「汝の隣人を愛せよ」という言葉から、この名前に決まったとのこと。今は車の通行は出来ませんが、地域の方々の通勤通学路となっています。八尾川の周りには漁船が停泊しており漁師町を感じる光景です。また、八尾川周遊かっぱ遊覧船も出ており、八尾川～西郷港を遊覧し、水面から隠岐の街並みを見る事が出来ます。ただし4月～10月までの期間限定なので、この時期は乗船出来ませんでした。

最近人気のある EXILE(イグザイル) のジェネレーションズ Gr も、隠岐の島でプロモーションビデオを撮影しました。是非、隠岐の島を訪れて、隠岐の魅力を直接肌で感じて下さい。



「愛の橋」の立て札



雪の西郷発電所



冷え込んだ朝の凍りついた水面 (西郷港西側の湾)



雪かきをするご主人 (西郷港西側の船着き場)